

～松政クラブは誠実に着実に市民の皆様の負託に応えます～

松江市議会

松政クラブだより No.14

発行 令和4年3月
発行者 松江市議会 松政クラブ
松江市末次町86
松江市役所内
電話 0852-55-5436
H P <http://syousei-club.jp/>



市民の皆様とまちづくりを

松政クラブ 会長 三島良信

昨年4月に執行された市長・議会選挙から1年が経とうとしています。松政クラブとしても2名の新人議員を加え、9人会派として活動を重ねてまいりました。会派の人数が減りコンパクトになった松政クラブですが、その分気持ちの一つとして、より機動力のある会派運営に努め、市民の皆様の負託に応えるべく取り組んでいます。

さて、新型コロナウイルス感染症はその発生から2年が経過しましたが、その猛威は依然として収まることを知らず、松江市においても大きな影響を及ぼしています。医療機関や保健所など感染症対応に携わられている関係者の皆様には、日夜献身的にご尽力頂き、そのご苦勞に対し敬意と感謝を申し上げます。また、影響を受けている事業所等に対しては、会派を挙げ支援体制の構築に対し、今後も市執行部へ働きかけてまいります。

松政クラブは、これからも皆様と共にまちづくりに取り組み、「市民の皆様の安心安全が最優先」を念頭に置き取り組んでまいりますので、どうかご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

松政クラブ役員構成

会長／三島良信
幹事長／吉金隆 政策部長／河内大輔

副議長／野々内誠

常任委員会所属委員 ◎委員長 ○副委員長

総務委員会：◎河内大輔、三島良信、森脇勇人

教育民生委員会：○原田守、吉金隆

経済委員会：三島進、小澤一竜

建設環境委員会：野々内誠、野津直嗣

予算委員長：◎三島良信

議会運営委員会：○三島良信、吉金隆、河内大輔

特別委員会所属委員 ◎委員長 ○副委員長

宍道湖・中海問題等対策特別委員会：◎野津直嗣、三島良信、小澤一竜

島根原子力発電対策特別委員会：◎森脇勇人、河内大輔

総合交通対策特別委員会：◎吉金隆、野々内誠

まちづくり対策特別委員会：三島進、原田守

新庁舎建設特別委員会：○河内大輔、三島良信、原田守

松江市総合計画特別委員会：○森脇勇人、野々内誠、小澤一竜

令和3年度の活動

6月議会 二島良信

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 新型コロナウイルス感染症について
- 3 島根原子力発電所について
- 4 島根町加賀の大規模火災について
- 5 教育方針について
- 6 市立病院について
- 7 専決処分について



9月議会 吉金 隆

- 1 新型コロナウイルス対策について
- 2 水害被害について
- 3 市長の掲げられた「豊かな松江」について
- 4 市長の掲げられた「まとまりのあるコミュニティ」について
- 5 教育問題について



松政クラブ 代表質問

【質問】消防団員・消防職員をはじめ地域の皆さんが一丸となり対応されたことと考えている。今後、このような大規模火災があつてはならないが、検証・総括、今後の振興策も含めて伺う。

【答弁】火災予防対策の推進や消防水利の確保、地域の消防団の充実強化、指揮体制の整備といった火災に備えた機能の強化。この火災を教訓とし、支所、公民館、自治会、消防団などを起点とした地域力の向上を目指してまいります。

【質問】県民の心がけと努力と辛抱によって感染者数を抑えている地域にも、感染症対策や地域経済の活性化につながるさらなるインセンティブなどの支援が行われるべきである。県と一緒に、同様な地域と連携し、国に対し声を上げる考えはないか。

【答弁】本市と同様の状況にある地域と連携を図りながら、状況に応じて必要な対応を行いたい。

12月議会 河内大輔

- 1 令和4年度予算編成について
- 2 中期財政見直しについて
- 3 島根原子力発電所について
- 4 中国横断新幹線、山陰新幹線の推進について
- 5 児童クラブの運営について
- 6 松江市立幼稚園のあり方について
- 7 有害鳥獣被害対策の支援について



2月議会 二島良信

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 令和4年度の予算編成について
- 3 松江市のまちづくりについて
- 4 新型コロナウイルス感染状況について
- 5 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 6 出雲そば発祥の地松江について
- 7 国民健康保険事業について
- 8 公共施設適正化について



【質問】並行在来線の経営分離や地元負担金の問題等の解決を図っていくと同時に、新幹線開通へ向けての要望活動の機運醸成など、地元経済団体や島根・鳥取両県、また周辺市町村などをまとめて松江市がリーダーシップを取り推進していく必要がある。市長の意気込みを伺う。

【答弁】新幹線整備を推進するために自治体、経済団体の44団体で構成される中国横断新幹線整備推進会議が組織されており、私が会長を務めている。この推進会議が主体となり、国と島根県に要望を行った。この要望では、中国横断新幹線、山陰新幹線の整備計画路線への格上げに加え、並行在来線の経営分離をしないために必要な措置を検討すること、整備事業費の地元負担の在り方の見直しを検討することについても併せて要望している。引き続き圏域の官民、そして市民の皆様が一丸となって歩みを進められるよう取り組んでいく。

【質問】同じ施設があるからと単純に廃止を基本に決めるのではなく、どうすれば利用度を上げられるかなど、地域に合った利活用が求められる。新聞報道で19施設の譲渡や処分が示されたが、広報をすることは良いとしても、今後もこのような方法で進めていかれるのか心配している。

【答弁】本年1月中旬に報道発表した施設は、公共施設としての利用予定がなく、活用方法が決まっていない施設であるため、民間企業や地元団体などからのご提案をいただき、有効活用することで地域活性化につなげたいという考えで公表した。一方で、地元の皆様など関係者に対する情報提供が不十分であったことからご心配の声をいただいた。今後は、地域の皆様へ事前に情報提供を行い、アイデアや意見も伺いながら進めていきたい。

島根原発2号機再稼働に対する考え

松政クラブでは、市長の要請で令和4年2月15日に開催された全員協議会において、島根原発2号機の再稼働について容認する旨主張しました。再稼働が必要な理由として、エネルギーコスト上昇による経営逼迫など、経済的な点。世界規模の取り組みであるカーボンニュートラルなどをはじめとした、環境保護の点。火力発電への依存による化石燃料の輸入増加や電力供給の不足など、電力安定供給の点の、主に3点です。

原発再稼働にあたって1番の課題である、安全性の確保の問題ですが、世界で最も厳しい水準の、新規規制基準に適合した島根原発は、リスクが

ゼロになることこそありませんが、安全は最大限確保されていると考えています。また、安全対策や避難計画の見直しは、絶えず新たな知見を取り入れたものへ更新していく必要がありますが、その点についても原子力規制委員会をはじめとしたチェック機能が今後も働いていくものと考えています。島根原発1号機が稼働してから半世紀あまり、松江市議会としても島根原子力発電対策特別委員会での議論など、絶えず間なくチェックを行なっていますが、松政クラブとして今後も安全性の確保を最優先とし、その上で島根原発2号機の再稼働に対し推進をしてまいります。

令和4年度予算編成等に関する市長要望（主なもの）

- 境港出雲道路をはじめとした8の字ルートの実現、松江北道路の早期着工、国道431号・432号の整備促進に向けて積極的に取り組まれない。
- 松江駅前再開発や県立プール跡地の利活用、松江城大手前や殿町再整備等、各エリアの計画や市全体のデザインを明確に示した上で、事業手法を検討し計画を推進されたい。
- 少子高齢化社会の進行を緩徐にするために、不妊治療の拡充及び産後ケア事業の予算確保に努められたい。また、啓発活動や相談体制の充実についても努められたい。
- 行き届いた教育のためにも、少人数学級の維持に努められたい。
- 森林環境譲与税を有効活用し、林業や製造業などへの支援に努め、公共施設等への市産材利用を積極的に推進されたい。
- 養殖や定置網、放流事業や漁礁の設置など、漁業従事者の支援を積極的に行うとともに、うなぎや赤貝、あわび、うに等の産地化に努められたい。
- 松江市の実情に合った農業振興支援事業を研究し、実効性のある施策を展開されたい。



視察・研修

- 東京での研修・要望
- 「特定地域づくり事業協同組合について」講師【細田博之衆議院議員】
総務省地域力創造グループ地域振興室 岩田真奈課長補佐
- 「令和3年度地方交付税について（地方財政対策等）」講師 総務省自治財政局交付税課 齋藤 修課長補佐
- 「国の施策・制度・予算に対する要望書」【細田博之衆議院議員、青木一彦参議院議員、舞立昇治参議院議員、三浦靖総務大臣政務官・参議院議員】
- 女川原発視察（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）



松政クラブは議会ごとに決議文を作成し、国等への働きかけを行なっています

- 水害対策を確実に実施するための支援を求める意見書
- 学校における教育体制の充実を求める意見書
- 山陰新幹線及び中国横断新幹線（伯備新幹線）の整備促進を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症に対し、適切かつ迅速な対応と支援を求める意見書

松政クラブだよりに記載した以外の、主な活動については、ホームページでご確認ください。

松政クラブ

検索

